千葉市感染症発生動向調査情報

2026年 第43週 (10/19-10/25)

1 定点把握対象感染症(五類感染症の一部)

定点	報告定点医療機関数			
	第43週	第42週	第41週	第40週
小児科	15	15	15	15
ARI(急性呼吸器感染症)	24	25	25	25
眼科	5	5	5	5
基幹	1	1	1	1

上段:報告患者数、下段:定点当たりの報告数

定点当たりの報告数:報告患者数件/報告定点医療機関数

定点	感染症	発生動向	10/19-10/25 第43週	10/12-10/18 第42週	10/5-10/11 第41週	9/28-10/4 第40週
小児科	RSウイルス感染症		5 0.33	3 0.20	6 0.40	6 0.40
	咽頭結膜熱		2 0.13	0 0.00	1 0.07	0 0.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10 0.67	11 0.73	23 1.53	19 1.27
	感染性胃腸炎	↑	43 2.87	21 1.40	48 3.20	35 2.33
	水痘		1 0.07	0 0.00	4 0.27	4 0.27
	手足口病	↓	28 1.87	32 2.13	66 4.40	33 2.20
	伝染性紅斑		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	突発性発しん		6 0.40	5 0.33	3 0.20	2 0.13
	ヘルパンギーナ	↑	26 1.73	19 1.27	51 3.40	26 1.73
	流行性耳下腺炎		0 0.00	0 0.00	1 0.07	1 0.07
ARI	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		220 8.80	210 8.40	420 16.80	316 12.64
	新型コロナウイルス感染症		18 0.72	21 0.84	33 1.32	36 1.44
	急性呼吸器感染症	↑	1,348 56.17	1,223 48.92	1,734 69.36	1,397 55.88
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		0 0.00	1 0.20	1 0.20	4 0.80
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	1 1.00	1 1.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	インフルエンザ入院	↓	0 0.00	3 3.00	0 0.00	0 0.00
	新型コロナウイルス感染症入院	↓	0 0.00	3 3.00	1 1.00	1 1.00

※「発生動向」欄のマークについて

＜流行状況＞

★★:「警報レベル」流行発生警報開始基準値以上(終息基準値を下回るまで継続表示)

★ :「注意報レベル」流行発生注意報基準値以上

※警報レベル・注意報レベルについては、市感染症情報センターWebSiteの「警報・注意報の解説」のページをご覧ください。

＜増減＞:マークの対象は当該週又は前週の定点当たりの報告数が1.00以上

↑・↓:「増加・減少」定点当たりの報告数が前週より5%を超えた増加または減少

2 全数報告対象感染症　　6 件

感染症		性別	年齢層	感染症	性別	年齢層
結核	無症状病原体保有者	女	20歳代	腸管出血性大腸菌感染症	男	10歳未満
	患者	女	20歳代		男	50歳代
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		男	60歳代	梅毒	男	50歳代

結核2件（128）、腸管出血性大腸菌感染症2件（26）、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件（9）、梅毒1件（30）の発生届出があった。

※ （）内は2026年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

3 定点当たり報告数のコメント

＜感染性胃腸炎＞

前週より増加し2.87となった。年齢階級別の報告数は1歳が最多。

＜手足口病＞

前週より減少し1.87となった。年齢階級別の報告数は2歳が最多。

＜ヘルパンギーナ＞

前週より増加し1.73となり、過去5年の同時期と比べ最多のまま。年齢階級別の報告数は1歳が最多。

＜インフルエンザ＞

前週からほぼ変化なく8.80となった。年代別の報告数は10-19歳（合計）が最も多く、そのうち10-14歳が多かった。10歳未満では6歳が最多。

＜急性呼吸器感染症＞

前週より増加し56.17となった。年代別の報告数は10歳未満（合計）が最も多く、そのうち1-4歳が多かった。

＜インフルエンザ（入院）＞

前週より減少し0となった。

＜新型コロナウイルス感染症（入院）＞

前週より減少し0となった。

■ 各感染症のグラフ、インフルエンザ発生状況は、市感染症情報センターWebSiteでご覧いただけます。

・感染症発生グラフ
https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2026.pdf

・インフルエンザ発生状況
https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/influ2026.pdf

※ 感染症発生動向調査とは、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の国民や医療機関への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ的確な予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止することを目的としています。

＜参考＞千葉県感染症情報センター
https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html